

『清水港で「みなと」を学習！』 ～富士宮市の児童104名が清水港を体感～

1. 概要

国土交通省中部地方整備局清水港湾事務所では、「みなと」の学習を目的とした方たちに港内見学の対応など支援を行っています。平成28年10月19日（水）に富士宮市立東小学校の5年生104名と引率の先生方が清水港を訪れ港内見学を行いました。

当日は、清水港の役割や特徴の学習に加え、普段は見るのが難しい国際コンテナターミナルの荷役作業や、富士山と調和した美しい清水港を海上から体感しました。

また、清水港に寄港する大型クルーズ船の受入環境を改善するための、「日の出岸壁改良工事」と連携したアートプロジェクトにも参加いただきました。

清水港に対する様々なメッセージを色彩カードにお寄せ頂き、これを工事期間中に設置される工事用擁護ボードにアートとして貼付・掲載します。



《海上からの港内見学》

2. 日時・場所等

日時：平成28年10月19日（水） 9:30～11:40

場所：清水港マリビル（概要説明）
清水港港内見学（船上視察）

参加者：富士宮市立東小学校 5年生児童104名及び教員

3. 実施概要

別添資料参考

4. 配布先

中部地方整備局記者クラブ、専門紙記者会、静岡県政記者クラブ、静岡市政記者室、
港湾空港タイムス、港湾新聞、日本海事新聞、海事プレス

5. 問合せ先

国土交通省 中部地方整備局 清水港湾事務所
企画調整課 堀池(ほりいけ)、坪倉(つぼくら)

Tel 054-352-4148 Fax 054-353-3072

※参考：アートプロジェクトとは

清水港に寄港する大型クルーズ船の受入環境を改善するため、平成28年7月19日より現地着手している「日の出岸壁改良工事」と連携したコラボ企画。クルーズ船の乗船客や一般市民の方から清水港に対する様々なメッセージを色彩カードにお寄せ頂き、工事期間中に設置される工事用擁護ボードにアートとして貼付・掲載しています。美しい清水港の姿を未来につなげるためのメッセージが港を訪れる人の目にふれ、景観の一部として記録される取組です。



【見学コース】

別添



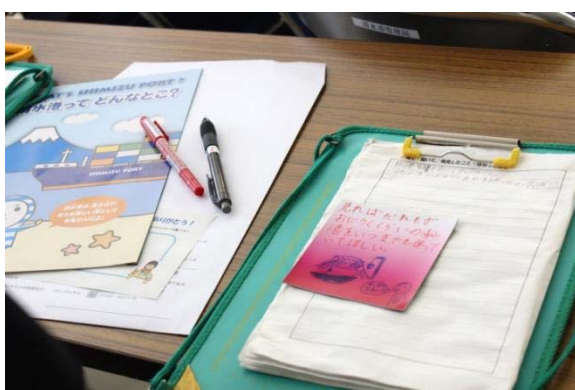
【見学状況】



《事務所職員による概要説明》



《船上からの港内見学》



《参加児童が清水港へのメッセージをつづる》



《清水港についての学習》

【参加者の感想】

- 清水港にきて、清水港は富士山の見える港にふさわしい風景をつくるために、色にこだわっているということがわかったので、それを活かしてみんなが行きたくくなるような港にしていってほしい。
- 清水港の海は、奥に行けばいくほどきれいに輝いていた。清水港では富士山を美しくするために、青と白で見せるのはびっくりしました。
- 清水港でいろいろな役割をしているものがいてどのように役立っているかがわかりました。
- 船に乗りながら、お話を聴いたので港と工業、さまざまな産業との関わりを感じながら見学することができました。
- 海から見る港の風景はとても興味深かったです。日本の工業、水産業と密接に関わっていることがわかりました。「美しい」と本当に思いました。